



『わたしのワンピース』

にしまき かやこ／えとぶん
こぐま社(E-274)

空からふわりと降ってきた白い布でうさぎが作ったワンピース。さっそくそれを着て「ララランロロロン」と鼻歌を歌いながら歩いていくと、白いワンピースはお花畑ではお花模様、雨が降ってくると雨の模様になりました。

ワンピースの模様が次々に変わっていく様子が見どころです。



『わにわにのおふろ』

小風 さち／ぶん
山口 マオ／え
福音館書店(E-747)

わにわにはおふろが大好き！湯ぶねにあひるのおもちゃを浮かべたり、バケツをかぶってシャワーのマイクで歌を歌ったり。泡ぶくぶくで体を洗った後は、おふろにしっかりとつかってタオルで拭きます。

この他にも、わにわにが料理をしたり、お祭りに行ったりする絵本もあります。

その他のおすすめ本

『とんとんとめてくださいな』
こいで たん／ぶん こいで やすこ／え
福音館書店(E-716)

『きょだいなきょだいな』
長谷川 摂子／作 降矢 なな／絵
福音館書店(E-714)

『ももたろう』
長谷川 摂子／文 はた こうしろう／絵
岩波書店(E-871)

『パンやのくまさん』
フィービ・ウォージントン／さく・え
セルビ・ウォージントン／さく・え
まさき るりこ／やく 福音館書店(E-743)

『もりのなか』
マリー・ホール・エッツ／ぶん・え
まさき るりこ／やく 福音館書店(E-723)

『てぶくろーウクライナ民話』
エフゲーニ・ラチョフ／え うちだ りさこ／やく
福音館書店(E-743)

令和8年4月
編集発行：福島市立図書館(Tel. 531-6551)

【福島市立図書館】
○開館時間
午前9時30分～午後7時
(日曜日・祝日は午後5時30分まで)
○休館日：火曜日、館内整理日
○おひぎにだっこのおはなし会
毎月第3木曜日 午前10時30分～
○あかちゃんタイム
毎月第2・3木曜日、第2日曜日
午前9時30分～12時

【福島市子どもライブラリー】
○開館時間
午前9時30分～午後7時
○休館日：火曜日
○おひぎにだっこのおはなし会
毎月第1木曜日・第3日曜日
午前11時～

学習センター図書室については、各館にお問い合わせください。

あかちゃんえほん③ 【おはなし】



はじめに

赤ちゃんにとって「生まれて初めてふれる本」は、絵本です。赤ちゃんを膝にのせて、できるだけゆっくり、心を込めて読んであげてください。それが親子のふれあいの場となり、赤ちゃんにとっても幸せな経験となっていきます。

このリストでは、物語を楽しめるようになった赤ちゃんにおすすめの「おはなし」の絵本を紹介しています。赤ちゃんと一緒に「おはなしの世界」を存分に楽しんでください。



『ぼくのくれよん』

長 新太／おはなし・え
講談社(E-737)

ごろんと転がった大きなくれよん。これは、ぞうのくれよんです。ぞうが描いた大きい絵を、本物だと思った動物たちは…。ぞうは、もっとたくさん絵を描きたいようです。次はどんな絵になるのでしょうか？



『ぞうくんのさんぽ』

なかの ひろたか／さく・え
なかの まさたか／レタリング
福音館書店(E-741)

今日はいい天気。ぞうくんは散歩にでかけます。途中で出会ったかばくん、わにくん、かめくんと次々に背中に乗せてみんなで一緒にお散歩です。ところがぞうくん、足取りがちょっと危なげです…。

ゆっくりほのぼのとした会話と、その後の急展開に注目です！



『いっすんぼうし』

いしい ももこ／ぶん
あきの ふく／え
福音館書店(E-アキ)

むかし、あるところに、親指ほどの大きさのあかんぼうが生まれ、いっすんぼうしとなづけられました。

やがて、いっすんぼうしはおわんをかさに、はしをつえに、はりをかたなにしてみやこをめざす旅に出たのでした。

美しい日本語と絵で楽しめる昔話です。



『おおきなかぶ』

A.トルストイ／再話
内田 莉莎子／訳
佐藤 忠良／画
福音館書店(E-サウ)

おおきなかぶができました。あまりにおおきいので、おじいさん1人では抜けません。そこで、おばあさん・まご娘・いぬ・ねこ・ねずみが手伝いにやってきます。

かぶをひっぱる時の「うんとこしょどっこいしょ」というかけ声を、子どもと一緒に口ずさみながら読むのも楽しいです。



『はらぺこあおむし』

エリック・カール／さく
もり ひさし／やく
偕成社(E-加エ)

日曜日に生まれたあおむしくんは、おなかかべつこぺこ。月曜日にはりんごをひとつ、火曜日にはなしをふたつ、水曜日には…。次々と食べ続けますがまだまだぺつこぺこ。一週間経つとようやくおなかも満たされて、大きなふとつちよあおむしになりました！

数や曜日の認識が織り込まれた、穴あきしかけ絵本です。

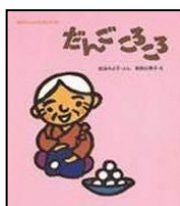


『ロージーのおさんぽ』

パット・ハッチンス／さく
わたなべ しげお／やく
偕成社(E-ハツ)

めんどりのロージーが、おさんぽにでかけました。池の周りや塀のすきま、蜂の巣箱の下を、すたすた、すいすい歩いていきます。

あれあれ？ そんなロージーの後ろを、誰かがついてくるみたい。一体どうなるのかな？



『だんごころころ』

松谷 みよ子／ぶん
和歌山静子／え
童心社(E-ワカ)

むかしむかし、ばあさまがだんごを作っていたら、だんごがひとつ、ころころと土間のすみっこの穴に落ちてしまいました。

だんご だんご どこへいく？

だんごを追いかけて、ばあさまも穴に飛び込みました。落ちた先にいたのは…。



『三びきのやぎの がらがらどん』

マーシャ・ブラウン／え
せた ていじ／やく
福音館書店(E-ブラ)

草を食べに山へ出かけた、3びきのやぎの がらがらどん。しかし、山へ行くためには、大きなかいぶつトロールが住む橋を渡らなければなりません。小さいがらがらどんから1びきずつ渡ることになりましたが…。

3びきは、無事に山にたどりつけるのでしょうか。



『はなをくくん』

ルース・クラウス／ぶん
マーク・シーモント／え
きじま はじめ／やく
福音館書店(E-サイ)

雪が降り積もる冬の間、のねずみも、くまも、かたつむりもみんな眠っています。ある時、目を覚ましたみんなは、はなをくくん。何かのにおいに気がついて、駆けだしていきます。そして、たどり着いたところには…？



『ちびゴリラのちびちび』

ルース・ボーンスタイン／さく
いわた みみ／やく
ほるぷ出版(E-ボン)

小さいちびゴリラのちびちびのことが、お父さんもお母さんも森の動物たちもみんな大好き。それはちびちびが大きくなっても変わりません。

ちびちびを周りの大人たちが可愛がり見守っている、心温まるお話です。読んでいる子どもも安心感を得られる本です。